

大学共同利用機関法人自然科学研究機構  
教育研究評議会（第48回）議事要旨

1. 日 時 平成28年6月6日（月）10：45～13：00
2. 場 所 自然科学研究機構事務局会議室
3. 出席者 小森議長、大隅評議員、岡田評議員、小川評議員、小間評議員、佐藤評議員、玉尾評議員、常田評議員、花輪評議員、村上評議員、飯澤評議員、金子評議員、林評議員、竹入評議員、山本評議員、井本評議員、川合評議員、室賀評議員、上野評議員、小杉評議員  
(陪席者)  
二宮監事、竹俣監事  
(事務担当者)  
植垣総務課長、野田企画連携課長、布野財務課長、大河施設企画室長、国立天文台 笹川事務部長、核融合科学研究所 山本管理部長、岡崎統合事務センター 棚木事務センター長及び三好財務部長 他  
(研究成果発表者)  
田中 照也 准教授（核融合科学研究所）
4. 配付資料
  - 1 教育研究評議会評議員名簿
  - 2 教育研究評議会（第47回）議事要旨（案）
  - 3 教育研究評議会概要
  - 4-1 自然科学研究機構組織運営通則（抄）等
  - 4-2 機構長選考会議委員名簿（案）
  - 5-1 第2期中期目標期間における実績報告書のポイント
  - 5-2 学部・研究科等の現況調査表（研究）
  - 5-3 中期目標の達成状況報告書
  - 5-4 研究業績説明書
  - 5-5 平成27事業年度に係る業務の実績及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書
  - 5-6 平成25～27事業年度における「共通の観点」に係る取組状況に関する資料
  - 6-1 平成27事業年度決算（案）のポイント
  - 6-2 財務諸表（案）
  - 6-3 事業報告書（案）
  - 6-4 決算報告書（案）
  - 6-5 監査報告（案）
  - 6-6 独立監査人の監査報告書（案）
  - 7 平成29年度概算要求 機能強化経費事項一覧表
  - 8 平成29年度 施設整備費概算要求一覧
  - 9-1 名誉教授称号授与候補者
  - 9-2 大学共同利用機関法人自然科学研究機構名誉教授称号授与規程
  - 10 第5回自然科学研究機構若手研究者賞 授賞式及び記念講演について

## 席上配布資料

- ・ 機構長就任のご挨拶
- ・ 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 概要
- ・ 平成28年度教育研究評議会開催日程

## 5. 議事等

議事に先立ち、小森機構長から、就任の挨拶及び今期の教育研究評議会評議員の紹介があり、引き続き事務局から、定足数及び配付資料の確認があった。

### 1) 前回議事要旨（案）について

前回教育研究評議会（第47回）議事要旨（案）（資料2）が了承された。

### 2) 教育研究評議会の関係諸規程について

事務局から、資料3に基づき、教育研究評議会の関係諸規程について説明があった。また、小森議長から、自然科学研究機構教育研究評議会規程第3条第2項に定める理事について、飯澤理事を指名する旨の表明があった。

### 3) 機構長選考会議委員について

小森議長から、資料4-1及び資料4-2に基づき、機構長選考会議委員について説明があり、審議の結果、自然科学研究機構機構長選考会議規程第3条第2号に掲げる教育研究評議会評議員5名について、郷評議員、小間評議員、佐藤評議員、常田評議員、村上評議員が選出された。

### 4) 第2期中期目標期間の業務実績報告等について

金子評議員から、資料5-1から資料5-6に基づき、第2期中期目標期間の業務実績報告等について説明があり、審議の結果、案（資料5-2から資料5-6）のとおり了承された。

（主な意見等は以下のとおり）

- 機構のミッションの大きな柱には、人材育成もあると思う。この点を是非強調するようにしていただきたい。学部・研究科等の現況調査票においても、基礎生物学研究所及び生理学研究所は、教育について言及しているが、他の研究所については、触れていないように見受けられるため、改善をお願いしたい。  
また、RAと准研究員の違いをご説明いただきたい。
- RAは時間雇用であり、准研究員は月給制である。
- 資料5-3の「3-1-1-2-2 学位取得状況」について、平成27年度の博士（学術）は大幅に増えている一方、博士（理学）が落ち込んでいるが、これは機構の方針等によるものか。
- 学生の希望で決定しているものである。
- 資料5-4の研究業績説明書における選択及び評価基準は何か。
- 研究業績の選定及び評価の判断基準は、各研究所の研究業績説明書の「1.

学部・研究科等の目的に沿った研究業績の選定の判断基準」に記載してある判断基準に基づいて行っている。今回の業務実績報告が従来と異なる点としては、社会、経済、文化的なものなど、学術的以外のものについても選定できるようになったという点である。

評価ランクについては、評価委員の先生方は専門的な立場も踏まえて判断されるのでそれに耐えうるものと考えている。

- 自己評価の場合はどうか
- 各機関に評価を担当する委員会等があり、そこで決定している。
- 資料では各研究所の規模感（人数、研究の規模等）が分からない。規模を理解したうえでの評価であると思うがどうか。
- 様式にはそのような点を書く欄がない。評価委員会には、毎年様々なデータを提出しており、これが前提になっているものと思料する。ご指摘いただいた点を受け、対応を検討したい。
- 大学共同利用機関の評価のポイントは、どれだけ共同研究を行ったかという点であると思うが、このあたりの評価基準及びウエイトについてご説明いただきたい。
- 現況調査表の「研究活動の状況」の中に共同研究の貢献に関する記述がある。研究成果については、今回から研究テーマが評価の対象となっており、このエビデンスである論文には、共著論文が多数挙げられている。
- 資料5-1の6頁に記載のある研究基盤戦略会議について、自然科学研究機構概要の組織図上の位置付けはどのようなものか。
- 役員会は役員のみで構成されるが、機構会議は役員と研究所長（台長を含む）で構成されており、両者をうまく連携させながら運営するように組織を形作っている。研究基盤戦略会議は、役員、各研究所長に加え、機構直轄のアストロバイオロジーセンター長や新分野創成センター長も構成員となっており、機能強化に関する方針の検討、システム改革及び予算配分等を機構全体として検討しようとするものである。構成員及び機能が異なるものとしてご理解いただきたい。
- 各機関の研究業績等が右肩上がりなのに対して、資料5-3の「3-1-1-2-1 専攻別教育の状況」及び「3-1-1-2-2 学位取得状況」が下がっている。この点について、機構の認識としてはどうか。
- 基本的には定員があるため、右肩上がりにはならないが、各学年で入学する学生数も変動するため、これを反映したものとなっている。平均すると、定員で入学した学生は順調に学位を取得しているものと考えている。
- 自然科学研究機構の評価において、総合研究大学院大学との切り分けを説明いただきたい。
- 教育という面では重複している。機構としては総合研究大学院大学のみではなく、連携大学院等もあり、人材育成という点ではこれらを含めて記載している。
- 新分野創成センター及びアストロバイオロジーセンターについて、予算獲得はどのように行っているのか。スクラップ・アンド・ビルドなのか。
- 完全なスクラップ・アンド・ビルドではなく、基本的には組織改革により予算を獲得している。アストロバイオロジーセンターの人員については、国立天

文台及び基礎生物学研究所から定員を割き、新しい融合分野として予算要求している。

5) 平成27年度決算について

事務局から、資料6-1から資料6-6に基づき、平成27年度決算について説明があり、審議の結果、案(資料6-2から資料6-6)のとおり了承された。

(主な意見等は以下のとおり)

- 人件費率の増加について、年俸制教員の増加を理由としているが、年俸額に退職金を含んでいるための増加という理解でよいのか。
- その通りである。

6) 平成29年度概算要求について

事務局から、資料7に基づき、平成29年度概算要求について説明があり、審議の結果、案(資料7)のとおり了承された。

なお、概算要求における優先順位については、小森議長に一任することとされた。

(主な意見等は以下のとおり)

- TMTの進捗状況はどうか。
- TMT用の山頂の土地使用許可について、現在、再取得を目指して手続きを進めており、この土地使用許可を受けて、建設費の要求を行う予定である。
- 機構の枠を越えた異分野融合、新分野開拓が求められていると思うが、これに関する予算要求はどこに入っているのか。
- その点については、予算要求はまだ行っていない。本機構としては「分野融合型共同利用・共同研究基盤の形成」として予算要求を行うこととしている。

7) 平成29年度施設整備費補助金概算要求について

事務局から、資料8に基づき、平成29年度施設整備費補助金概算要求について説明があり、審議の結果、案(資料8)のとおり了承された。

なお、概算要求における優先順位については、小森議長に一任することとされた。

8) 名誉教授の称号授与について

事務局から、資料9-2に基づき、名誉教授の称号授与に関する関係規程について説明があった後、小森議長から、資料9-1及び席上配布資料に基づき、名誉教授の称号授与について説明があり、審議の結果、案(資料9-1)のとおり了承された。

9) 自然科学研究機構若手研究者賞(第5回)について

山本評議員から、資料10に基づき、自然科学研究機構若手研究者賞(第5回)

について報告があった。

1 0) 機構の最近の研究について

本機構の最近の研究成果について、核融合科学研究所の田中 照也 准教授から「ブランケット機能材料研究」と題して発表が行われ、意見交換があった。

1 1) 平成28年度教育研究評議会開催日程について

小森議長から、席上配布資料に基づき、平成28年度教育研究評議会開催日程について報告があった。

以上